

武相エコノミスト

第15号

2021.1.1

BUSO ECONOMIST

fifteenth issue



2021年
新春スペシャル鼎談

町田商工会議所 会頭

深澤

勝

相模原商工会議所 会頭

杉岡 芳樹

町田・相模原経済同友会 代表幹事

井上 博行

企業と人

シー・エイチ・シー・システム株式会社 取締役会長 渋谷 俊徳

武相エコノミスト

題字 小山克巳 株式会社 三和 相談役

表紙の人

左から 町田商工会議所 深澤勝会頭
井上博行代表幹事、
相模原商工会議所 杉岡芳樹会頭。
町田商工会議所会頭室にて

撮影 古末拓也



c o n t e n t s

11

例会報告 2020.9～11

10

Area Topics

町田薬師池公園四季彩の杜 西園

自然も食も体験も。

自分時間を楽しめる新名所

8-9

企業と人

シー・エイチ・シー・システム株式会社

取締役会長

渋谷 俊徳

空気環境の見える化を実現したい

7

私の行きつけの店

萬蔵そば 尾張屋

東京総合造園

青柳義昭

町田商工会議所 会頭

相模原商工会議所 会頭

深澤 勝 × 杉岡 芳樹 × 井上 博行

ウィズコロナの新しい時代における
町田と相模原の経済2団体のミッション

2021年新春スペシャル鼎談

4-6

THINK GLOBALLY, ACT LOCALLY

町田・相模原経済同友会は2006年7月、「誰もが住みよい町田市」を目指し東京町田経済同友会として設立されました。その後、2008年4月に町田・相模原経済同友会となり、町田市と相模原市、すなわち武相の発展を目指す団体へと進化を遂げ、その実現に向け歩み続けております。町田・相模原経済同友会の会員は、この地域において跳動している企業52社の経営者です。個々の企業経営者の「貢献する心」をベースに、業界や団体の枠を超えたネットワーク、時代の遷り変りを見る確かな目、そして問題を直視するリアリズムなど、そのリソースが最大の特色です。グローバルな視野で地域経済を捉える。つまり“think globally, act locally”な視点で調査・研究し、議論し、広く社会に影響を与えるべく行政への提言や講演会などの諸活動を行っております。また調査・研究や講演会など通じ、会員相互の交流は勿論の事、経営力の向上にも寄与しております。

会員の確固たる意志を礎に、確かな新しい時代を築くため、これまでも、そしてこれからも町田・相模原経済同友会は歩み続けます。

朝日リビング(株)
(株)ありあけ
(株)イーグル建創
(株)ヴィレッジ
SMBC日興証券(株) 町田支店
(学)桜美林学園
(株)オーディオテクニカ
(株)折本設備
(株)カイセ工業
(株)家具の大正堂
加藤商事(株)
(株)ギオン
(株)協栄
(株)ぎらぼし銀行 町田支店
草薙一郎法律事務所
(株)ケーユーホールディングス
相模原土地開発(株)

(株)三凌商事
(株)三和
シー・エイチ・シー・システム(株)
(株)JTB 相模原支店
住友生命保険(株) 町田支社
西武信用金庫 町田支店
千寿産業(株)
(株)創建
損害保険ジャパン(株) 町田支社
第一生命保険(株) 町田支社
大和証券(株) 町田支店
(株)タウンツアーズ
多摩信用金庫 町田支店
(株)竹清会
(医)直源会 相模原南病院
東京ガスライフバル澤井(株)
(株)東京総合造園
(学)東京町田学園 町田・デザイン専門学校

西松建設(株)
野村證券(株) 町田支店
萩生田税務会計事務所
(株)八朗平
東日本電信電話(株) 東京西支店
ファシリティパートナーズ(株)
(株)フィルツ都市建築設計
細野コンクリート(株)
(株)ホームリーダー
(株)ホンマ電機
(有)マサハ
(株)町田双葉
(株)三菱UFJ銀行 町田支店
(株)三ノ輪建設
睦特殊金属工業(株)
(株)ユニコーン
(株)横浜銀行 町田支店

ウィズコロナの新しい時代における 町田と相模原の経済2団体のミッション

町田商工会議所 会頭

相模原商工会議所 会頭

町田・相模原経済同友会 代表幹事

深澤 勝 × 杉岡 芳樹 × 井上 博行

2020年、世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症。

この未知なる敵に町田市と相模原市の商工業者や経営者はどう対処し

ウィズコロナで停滞する社会・経済活動の活性化に向け、どう歩みを進めたらいいのか。

深澤 勝
町田商工会議所 会頭
4000社の会員を有する
町田商工会議所の第5代会頭。
7年半の副会頭を経て、2013年11月より現職
現在3期目を迎える
過去には町田青年会議所の理事長も務めた
株式会社創建 代表取締役社長



公共施設はもつと
相互利用できるべき

動」。地域が元気にならないと商工業者も元気になるまいからね。この3つのことを柱に、さまざまな活動を行っています。

コロナ対策については、相模原商工会議所として相模原市へ3回以上、また神奈川県連として神奈川県へ提案や要望を出しました。コロナで困窮している事業者への経済支援策が喫緊の課題です。

井上 商工会議所のそうした活動は地域に密着していますが、行政と政治、お互いに進めている中で何か問題が起きると、例えば諮問機関や民間団体などさまざまなところで問題を解決させようとするやり方をしていますよね。そう言った点ではむしろ主導は、行政でもなく政治でもなく、民間なのかという一面があるような気がしています。従って民間、つまり経済が大事なのではと思うわけです。

深澤 商工会議所は商工業者の支援と言う部分が主軸ですが、同友会は、県を跨いで町田と相模原が一つになった団体であること、一経営者が個人の立場で経済活動を行っていて、その上での提言なので、商工会議所では進めにくいところでは是非力を発揮していただけたら、と思います。

実際、町田と相模原は図書館など公共施設の相互利用なども進んできていますし、経済的にはほぼ一つに近い状態です。それぞれにいろいろな計画も有りますが、もはや分かれて作る必要性はあまりないのではないかと思うのです。人口も減り高齢化も進むわけですから、これから作る施設などは、相互利用を前提に進めていくといったような提言をしていただけると有難いです。

井上 そうですね。先人が引いてくれた横浜線、そして小田急線。この2つ



活性化を目指し共に行動を

井上 博行

町田・相模原経済同友会 代表幹事
町田・デザイン専門学校 理事長・校長
1940年町田市木曾町生まれ
昭和第一学園高等学校建築科卒業
飛鳥建設(株)を経て独立、設計会社を設立
78年多摩造形学園創立、82年校名改称
町田市議会議員(3期)
4月に宮大工の養成学校を寸沢嵐に開校予定
山野草3000株を育成している

井上 町田・相模原経済同友会は平成18年に町田で発足し、平成20年4月に相模原との連繫を致しました。国も平成11年3月に第5次「首都圏基本計画」を策定する中、「業務核都市の整備」について町田・相模原を中核となるべき都市として位置づけて来ました。しかし、道州制しかり、本件も具体案に乏しい今日、私共は越県大都市力で生き残りを計らなければと危機感を感じています。両市の人口を合わせると約115万人。特に相模原はリニアが橋本に来るとはいえ、百貨店のない空白地帯と言われることもあります。今こそ、陳腐化しないように広域連携都市として相互に連携・交流を計り、地域社会の発展に貢献していきたいと考えています。

とという使命があります。中でも小規模事業者など企業基盤の弱いところを元気にして、地域の発展を促す。さまざまな研修会などで社員の質の向上を図るという事業も実施しつつ、大きなビジョンを常に描きながら、足元に力を入れているという感じですね。ただ、今年に限っては、コロナ一色です。まさに危機の真っ只中で、コロナ対策が最大の急務です。

深澤 商工会議所は国や都や市からの補助金をいただきながら運営していることもあり、地域を大きく発展させる

を跨いで活動できるのは私たちだけです。杉岡 町田も相模原も、行政がハード面でどう進めていくのか、そこにまちの未来がかかっていると思うんです。相模原では、補給廠など相模原駅北口と橋本駅の周辺を、いかに首都圏の南西部の広域交流拠点として位置づけたらいいのか、そこが肝だと思っています。一方、圏央道の方はまだ整備が完全ではありませんが、相模原ICから八王子駅まで整備されれば橋本から車で20分弱ですし、まず三多摩から橋本駅に来ていただき、バスタ新宿のような設備をつくり、三多摩のバス路線も充実させる、そんな考えも出ています。相模原が、土地の利を活かし、周辺地域も含めまちづくりをしつつあり

の路線ができて町田、相模原というエリアは共に活気づいてきたわけです。共に発展していけるような提言をしていきたいと考えています。

杉岡 エリア的にはすぐ隣ですが、行政的には東京と神奈川。行政が違っていると抱える問題も違います。ただ、まさにスーパードメインで目指しているように、リニアが東京・名古屋そして大阪、この3つの都市を1時間で結びます。1時間で移動できるなんて、もう隣の町のような感覚ですよ。そこで、私たち相模原が三多摩エリアも含めて果たす役割、目指すもの、それをどうやって連携しながら作っていくか。そこを重要視しています。

井上 医療分野でも、最近健康診断のチケットが町田と相模原で相互利用できるようなのはじめています。そういった部分にさらに踏み込んで、しっかりと提案もしていきたいですね。県と都

地元の開発に地場企業の参画を



杉岡 芳樹
相模原商工会議所 第4代会頭
2004年の常議員、商業部会副部長を経て
2013年に会頭に就任し、現在3期目を迎える
過去には相模原青年会議所の理事長や
国際ロータリー第2780地区ガバナーなども務めた
相模ガス株式会社 代表取締役

きな開発や地域振興は、地場の企業がなかなか参画できないという悩みがずっとありました。商工会議所の役割として地元企業が参画できる体制を作っていきたくて考えています。例としては、茅ヶ崎の柳島スポーツ公園の整備事業がPFIという手法で進められています。もちろん大手も若干入っています。複数の地域企業で一つの企業体を作つて、協力しながらやっていくというやり方です。津久井の青山地区に建設予定の新斎場整備をPFI手法でできないかと検討をしているところです。

深澤 「ローカルファースト」という考え方ですね。「地方創生」という言葉で国の政策が進められている中で、各地方自治体は、地域産業の活性化や超高齢社会に対応するまちづくりへのさまざまな取り組みを行っています。まちを一番よく知っているのは私たち、地元企業。なのに、そうした大きな事業を受注できないのがこれまでの実情でした。これからはPPPやPFIといった手法で公共性の高い大きな事業を遂行できるようになると、地元の企業はとても助かります。

井上 いずれにしても、商工会議所と我々同友会は経済団体として意見の食い違いが有ったとしてもいいから、お互いに摺合わせをしているいろいろな問題を進めていったらいいと思うんです。放置しておけない経済問題を行政だ

けに任せておけないと思うわけです。今回のコロナに関しても、それぞれ会議所として市に要望を出されていると思います。

深澤 まさに今、この問題は真つ最中です。手近なところでは、本来6月に行う会費徴収を、9月に変更しました。皆さん本当に厳しいはずなのですが、国による給付金やセーフティネットの融資をしつかり案内できたせいか、退会会員は抑えられている感じです。しかし、持続化給付金の第二弾でもないと、年明け頃に小規模事業者を筆頭に廃業も出て来るのでは、と心配しています。

また、給付金の仕組みが煩雑で一人ではできないという声も出ています。社会労務士と連携しながら相談会などを実施しています。そういったことも含め、各種相談件数は前年度の2・5倍と倍増しているので相談コーナーのスペースを2階にも増やして対応しているのが現状です。

業種で見ると、やはり飲食系が厳しいと思いますが、サービス業もかなり厳しいようです。商工会議所としては、市に対しても家賃補助を国の2か月前から要請していました。あとは、日本政策金融庫の利息の補助や東京都のテレワーク補助などいろいろな制度があるので、それを会員に告知しながら切り抜けてもらうようにしています。

杉岡 私たちも心配していたような数の退会者がまだ出ていません。実は、相模原商工会議所は2年前、増税の前に会費の値上げをしたばかりでした。会費を払つても会員でいる必要性を感じてもらえているのだと思います。飲食やホテル業は特に厳しいとよく耳にしますが、加えて相模原は工業都市と言う側面があるので、自動車メーカーも生産台数を落としていますが、工業系については資金繰りを含めてこれから、特に年明け頃にもっと大変になってくると思います。

同時に、ウィズコロナという観点で考えると、これから社会がどういう方向に動くのか、それに対してどう手助けできるのか、ということも重要です。サードプレイス、つまり家庭と職場に次ぐ、仕事ができる第3の場所が必要となるかもしれませんし、リモートワークのためにWi-Fiの整備をもっと充実させる必要が出てきます。

井上 新しい生活様式になりますからね。町田デザインでも授業は非対面ですし、大学生の孫も全部リモートです。そのあたりはコミュニケーション能力や人間力に影響するのでは、と非常に心配しているところです。日本人にとって心の美しさが一番大事なわけですから、今後の企業のあり方、非体面でのようにプラス面とマイナス面が出てくるのか、そこは慎重に進めていかないと

けないと思っています。

深澤 デジタルがあつてリアルがあつて、それぞれが交差しながら企業活動をやっていく場面が増えていきますが、今後はその両方が必要で組織が成り立つてくるでしょうね。サラリーマンもメインはテレワークで、そして週1回の出社なら都心に住まなくてもいいわけで、そういった意味では田舎でなく、都心でもない、まさに町田や相模原は地理的に意外と良いポジションにいるのかな、と思っています。この都心からの距離はチャンスとしてしっかりと掴んでいくべきですね。

それと関連して、団地再生も重要なテーマです。町田は高度成長期にたくさん団地ができましたが、どこもバスしか通つてなく、ここにモノレールを誘致して、アクセスを整備したら、団地が再生すると思うんです。多摩都市モノレールで町田と立川が繋がれば、交通の便もさることながら、街も賑わいを取り戻します。

井上 深澤会頭が力を入れていらっしゃる町田市の「まるごと大作戦」でも、団地でバスを循環させるという取り組みを進めていますね。それぞれ組織は違つても、愛するまちを活性化させるために、ハード・ソフト面で一体になり経済団体として一緒に行動できたらいいですね。今日はどうもありがとうございました。



時代を切り拓いてきた蕎麦の名店

萬蔵そば 尾張屋 × 東京綜合造園 青柳 義昭

萬蔵そば尾張屋は、江戸時代に創業した尾張屋総本店の流れを汲む店で、ここ町田店は昭和51年にオープンした。広々とした店内は落ち着いた雰囲気、ソシヤルディスタンスを充分に保てる空間で食事を楽しむことができる。蕎麦は全て北海道十勝産。昔ながらの石臼で丁寧に挽き、風味を逃がすことなく職人が手打ちする。香り良く、喉越しもなめらかな蕎麦に、何十年も通い続けるファンも多い。

看板メニューは野菜と餅のかき揚げをのせた「萬蔵そば」。店名を冠したこの蕎麦が考案されたのは、なんと大正初期だ。腹持ちを考え、そして余った野菜を使ったかき揚げは、実はまかない用に作られたものだったという。しかし、いつしかメニューに並ぶとたちまち評判となった。ほかにもイクラや海老の天ぷら、錦糸玉子、大根おろし、山芋、キュウリなどをのせた「悪魔のささやき」、赤や緑の海草にグリーンアスパラ、レタス、コーンなど野菜たっぷりの「乙女の祈り」といった創作蕎麦も大正時代に作られ、そのユニークなネーミングも当時のままだ。

「町田には美味しい個人店が少なくなってきた」と言うのは東京綜合造園の青柳義昭氏。数多くの公園整備や道路の植栽などを手掛けてきた青柳氏は、2019年の秋に代表を息子の光太郎氏に譲り、会長となった。萬蔵そばには20年以上通う常連で、以前は奥さんと2人で来るのが殆どだったが、最近では育ち盛りのお孫さんたちを連れて大勢で訪れるようになったという。食事はもちろん、お酒が進むメニューも豊富で、使い勝手の良さも気に入っている。

現在は、2代目店主と温かい接客の女将、そして創業者・志村萬蔵氏の2人の孫たちが店を守る。兄の萬司氏はPRや接客を担当し、弟の宝司氏は厨房で腕を振るう。若い感性で店の新たな魅力を作ろうと、食材探しやメニュー開発にも協力して取り組んでいる。店も客も、世代を跨ぎ、新たな時代を迎えている。



上) 右から青柳氏、双子の兄の志村萬司氏、弟の宝司氏 中) 1階店内はテーブル席。2階にはお座敷も 下) 店は森野交差点の近く、鎌倉街道沿いに立地する

空気環境の見える化を実現したい

シー・エイチ・シー・システム株式会社
取締役会長

渋谷 俊徳

新型コロナウイルス感染症がパンデミックとなった2020年、新語・流行語大賞にも選ばれた「三密」がさかんに叫ばれている。しかし、「三密」に明確な基準値はない。代わりに、空気中の二酸化炭素濃度を測り、可視化

する試みが世界中で進んでいる。実はこのCO2濃度を測定し、快適な空気環境を作ろうという取り組みを日本で初めて正式に商品化したのが渋谷俊徳氏率いるシー・エイチ・シー・システム株式会社だ。

PROLOGUE

シー・エイチ・シー・システム株式会社（以下CHC）は、1979年に町田で創業した。大田区出身の渋谷俊徳氏は大学で社会心理学を学ぶ一方で情報処理やプログラミングもこなす、好奇心旺盛な青年だった。卒業後、松下電器の子会社に入社。建築の設備設計や施工を行う会社で空調エンジニアとして働いてきた。世の中に、まだ設備設計を扱う専門業者がいなかったことに着目し、「10年間はがんばってみよう」と、会社を立ち上げた。長女が生まれたばかりの、29才の時だった。

最初は松下電器産業空調機器サービスの代理店として、空調をメインとした施工を手掛けた。元請け志向で、建築会社の系列に入っていないことが成長を加速させた。クライアントニーズにダイレク

トに対応できることで順調に業績を伸ばし、創業10年目には世田谷区に東京支店を開設。1993年には八王子に営業所を、創業20周年となる1998年には町田市中町に新社屋が完成した。

ADVANTAGE

主軸としているのは空気調和・換気を主体とした建築設備施工、そして快適な室内環境と省エネを実現するCO2コントローラーの開発・販売だ。CHCの「CO2センサー・コントローラー／モニター」は、室内のCO2濃度を計測し、そのレベルを知らせるもの。CO2は推奨値の1000ppmを超えると、眠気や不快感など人体に影響を及ぼすと言われる、気密性の高い近年の建築では、このCO2濃度が及ぼす健康被害が問題視されている。ただ、CO2濃度を下げることとは、外気を多く取り入れるということであり、省エネとは程遠い結果となる。

そこで、CO2センサー・コントローラーは、室内のCO2濃度が指定量を超えると、リレー機能が作動し外部接続した機器を制御し、快適で省エネな居住空間を実現するのだ。

このCO2コントローラーが発売されたのは2009年。創業30周年を記念して取り組んだ事業で、2013年には町田市の、翌2014年には東京都のトラ

イアル発注認定制度の認定商品にも選ばれた。経済産業省や環境省、最高裁判所、東京大学や早稲田大学、スターバックスコーヒーはか、多くの現場で採用されている。町田市役所に導入したことで、電気代の実に9%が削減できたことも算出されている。また、モードを切り替えることで農業用にも活用でき、ハウス内で農作物の生育管理も行えるのだ。

GROWTH

一方、クライアントニーズに応え、事業の幅も広がってきた。現在はグループ内に建設会社と建築設計事務所も開設し、建築物の企画や設計、各種設備の施工やメンテナンスまで、一貫して行える体制も構築している。海外の展示会に積極的に出展したことで、海外の関係企業とも協業し、グローバルな展開もみせる。ただ、会社が大きくなっても頑なに目指しているのは「省エネ」、そして「快適空間」の実現で、機能性を重視する姿勢もブレることはない。



上) 左から「二酸化炭素デュアルセンサー・コントローラー」・「CO2センサー・コントローラー」 下) 中町の本社1階のショールーム

2019年の創業40周年に社長を息子の俊彦氏に譲り会長となった今は、東京都冷凍空調整備協会の会長職や町田商工会議所都市整備まちづくり委員会の委員長などを務め、別の視点からも環境問題に向き合っている。

「コロナ禍のまさに今こそ、CO2濃度を測り快適な空気環境で三密を避けることが、感染症対策に効果的なんです」42年前に着眼し始めたビジネスは、世界中が目指す、サステイナブルな未来へと繋がっている。

COMPANY PROFILE

シー・エイチ・シー・システム株式会社

創業：1979年4月1日

資本金：10,000万円

従業員数：35人

事業内容：空気調和などの設計・施工、CO2コントローラー及び環境機器の製造・販売

売上高：25億円

所在地：東京都町田市中町1-25-9

TEL：042-728-6660

FAX：042-722-2334

<http://group.chcsys.net/jp/>



町田薬師池公園四季彩の杜 西園 町田市本町田3105 TEL 042-851-8942 (西園ウェルカムゲート)
https://machida-shikisainomori.com/

自然も食も体験も。 自分時間を楽しめる新名所

「新東京百景」に指定されている薬師池やダリア園、ぼたん園、七国山など、四季を通じて花や風景を楽しめる町田薬師池公園四季彩の杜。ここに観光拠点としての一体性と魅力向上を図るプロジェクトが2014年から進められていた。

止となったが、施設は予定をずらし、6月初旬にオープン。以来、コロナ禍の疲れを癒す人たちが訪れている。

10月にはグッドデザイン賞を受賞。東京ドーム3つ分の敷地をほこる複数の公園群を1つの公園とみなすブランディングを軸に、「集う」「そして」「ただ居る」ことができる建物と、多摩丘陵の起伏に富んだ地形を活かしながらランドスケープ空間を整備したことが評価ポイントだった。

延期となった東京2020大会の聖火リレーでは、町田市内のスタート地点になる予定だ。新しい緑の丘から運ばれる聖火がコロナを克服した希望の灯となる日がもうすぐやってくる。



上中園内のカフェで購入できるファミリーバスケットやキッズバスケット、BOOセットを芝生広場に持ち込めば、手ぶらでピクニックやBOOを楽しむことができます。下直売所では朝採れの町田産野菜や町田市名産品などが販売されている。



写真提供: NEST Machida

第114回 2020 9/10 (木) ホテル
例 会 ラポール千寿閣

「企業の働き方を変える テレワークで業務効率化を図る」 株式会社プロイノベーション 代表取締役 久原健司氏

テレワーク導入時のメリットとデメリット、テレワークに向く業種や職業など、聴講者の属性を十二分に意識したこれから導入する企業にもわかりやすい丁寧な講話で、国や業界団体の助成金、支援まで、ウィズコロナの有り方を考える会でした。



第115回 2020 10/15 (木) ホテル
例 会 ラポール千寿閣

「今後の経済政策について」 衆議院議員 甘利明氏

デジタル庁新設でベンダーロックインからの脱却を図る行政のシステム構築や、オンライン診療や不妊治療といった医療施策を解説。平成時代と比較して憂慮される世界の時価総額ランキング、対中国問題等のリアルな外交対策まで熱く語られました。



第116回 2020 11/19 (木) ホテル
例 会 ラポール千寿閣

「町田市議会、相模原市議会の取り組み」

町田市議会議長 熊沢あやり氏
相模原市議会議長 石川将誠氏

玉川学園の同期という両氏がコロナ禍での紆余曲折をはじめ、感染症対策・災害対策等について説明。石川氏は、GIGAスクール構想を受けた感染拡大下での教育施策や、広域交流拠点の整備によるリニアの開業、多摩都市モノレールの誘致にも触れられました。



第117回例会 ～忘年例会～ 中止について

例年、1年の締めくくりとして会員とご家族を中心に実施してまいりましたクリスマス例会は中止とさせていただきます。

皆様には誠に申し訳ございませんが、ここにお詫びを兼ねてご報告をさせていただきます。

例会委員会一同

事務所の移転について

これまで、株式会社ギオン様のご厚意により長い間使用させていただきました事務所が2021年2月末をもって閉鎖のため、退出となります。

現在、幹事会で新しい事務所を検討しておりますが決まり次第ご報告をさせていただきます。

武相エコノミスト 第15号 2021年1月1日発行

発行 町田・相模原経済同友会 〒194-0022 東京都町田市森野1-25-19 パレス熊沢part1-2F TEL/FAX 042-726-3577
制作 株式会社VisionDesign 〒194-0021 東京都町田市中町1-17-11太陽第9ビル3F TEL 042-711-7770

町田・相模原経済同友会入会のお申込み・お問合せ TEL 042-726-3577 <http://www.ms-doyukai.jp/>

※本紙掲載の写真、記事、ロゴの無断転載、および複写を禁じます

すべては お客様のために

新しい時代もその先もずっと
真摯な姿勢で
お客様を支えていきます。



それ、
野村にきいてみよう。

野村證券

町田支店

〒194-0013 東京都
町田市原町田 6-3-9

Tel.042-725-2111 (代)

